

令和元年度 事業報告

我が国の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で大幅に下押しされており、大変に厳しい状況にあります。また、先行きにつきましても、感染症拡大の影響による厳しい状況が続くものと見込まれます。こうした中、感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意するとともに、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

このような状況下、当協会は平成31年4月1日より川崎市港湾振興会館及び東扇島中公園の指定管理者として新たな5年間をスタートいたしました。年度末にかけては新型コロナウイルス感染症の影響により事業の縮小を余儀なくされましたが可能な限り、川崎港の利用促進や市民と港を結ぶ事業を中心に、市民及び港湾関係者の利便性の向上と福利厚生の実現を図り、川崎港の振興・発展に資する事業を推進しました。

【公益目的事業－1】

——川崎港の国際競争力を強化し利用を促進する事業——

1. 港湾の国際競争力の強化のための港湾施設の整備促進及び運営の改善

「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」の運営に関する事業

関係官民19団体で組織する「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」の事務局を川崎市港湾局と協力して担い、各参加団体より提出された課題について協議会の傘下にある「改善部会」で一括して取り組んできた。平成30年度より「改善部会」では、東扇島地区或いは川崎港全般に関わる課題を継続課題として取り組むこととし、千鳥町地区に特化した課題は従前の協議会での取り組みとした。上記継続課題の進捗状況を具体的に検討、確認する場として改善部会を年2回、協議会を1回開催することにしてはいたが、令和2年初頭の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、今年度2回目の改善部会、並びに今年度末に予定した協議会の開催を見合わせた。予定していた会議の報告内容については、別途文書で委員にお伝えし、継続課題の進捗状況の情報共有を図った。

(1) 第1回「改善部会」の開催

日 程 10月23日

議 題

ア 課題の進捗状況について

(ア) 成果があった、或いは現在、取り組み中の課題として6件が報告された。

① 荷捌地の確保 ⇒ 東扇島堀込部の埋め立て

- ② タグボート基地の開設
- ③ 公衆トイレの改修
- ④ 外貿岸壁5～7号前のトイレの設置
- ⑤ 東扇島島内の美化対策（ゴミ対策）
- ⑥ 交通の利便性向上（東扇島地区）

（イ）「千鳥町再整備計画において協議する課題」

（2）第2回「改善部会」の開催

日 程 3月16日 ※開催中止

議 題

ア 課題の進捗状況について

（ア）成果があった、或いは現在、取り組み中の課題として5件が報告された。

- ① 荷捌地の確保 ⇒ 東扇島堀込部の埋め立て
- ② タグボート基地の開設
- ③ 環境の向上 ⇒ 不法投棄防止に向けての施策
- ④ 通勤車両の違法駐車対策
- ⑤ 東扇島島内の美化対策（ゴミ対策）
- ⑥ 交通の利便性向上（東扇島地区）

（イ）「千鳥町再整備計画において協議する課題」の進捗

（ウ）「千鳥町公共上屋の利用方法について」における進捗

（エ）成果物として1件が掲載された

（3）「推進協議会」の開催

日 程 3月25日 ※開催中止

議 題

ア 改善部会の議事内容

イ 課題の進捗状況について

成果があった、現在取り組み中の課題として8件が報告された。

ウ 今後の方針

東扇島島内の美化対策及び東扇島地区の交通の利便性向上については、個々に専門委員会を設立して集中的に取り組む方針を提言、次回改善部会で協議することにした。

2. 貨物の集荷及び船舶の誘致活動

（1）「川崎港戦略港湾推進協議会」ポートセールス部会の活動

「川崎港戦略港湾推進協議会」（平成23年9月設立）は、川崎市、川崎商工会議所、川崎港運協会、及び川崎港振興協会の4団体で構成され、コンテナターミナル利用の一層の拡大を図るための課題や方策を検討し、集荷とサービスレベルの向上を目指して、活動を行っている。推進協議会の会長を当協会の齋藤文夫会長

が務め、推進協議会の実行部隊である2部会（ポートセールス部会・施設計画部会）のうち、ポートセールス部会の事務局を当協会が担い、施設計画部会には委員として参加した。

なお、今年度のコンテナターミナルでの取扱数量は、初めて15万TEU超えを果たした。

ア ポートセールス部会の開催

(ア) 第1回ポートセールス部会の開催

日 程 6月25日

議 題 ①平成30年度活動状況について
②令和元年度事業計画について

(イ) 第2回ポートセールス部会の開催

日 程 11月5日

議 題 ①今年度の事業活動について
②今後のセールスタargetについて
③川崎港コンテナターミナルの整備状況について
④セールスツールの製作について

(ウ) 第3回ポートセールス部会の開催

日 程 3月3日

議 題 ①令和元年度の事業活動について
収支決算書（案）の確認
②川崎港を取り巻くマーケット状況について
③川崎港コンテナターミナルの施設整備状況について
④令和2年度事業計画及び収支予算案について
セールスツールの製作に向けての方針提案

イ 海外ポートセールスに関する活動

(ア) タイにおけるシッパーセールスの実施

日 程：7月11日～13日、1月12日～17日

目 的：福田市長のトップセールス
タイ航路週2便化に向けて顧客対応の強化

(イ) ベトナム（ダナン）でのポートセールスの実施

日 程：7月14日～7月18日

目 的：福田市長のトップセールス

SITCダナンー川崎航路開設に伴うシッパーセールスの実施

ウ 友好船社対応

(ア) SITCとの連携強化

- ・SITC上海本社への表敬訪問（10月26日）
協議会の齋藤会長とSITC楊会長との会談実現

- ・ S I T C 楊会長の来川に伴う接遇
 - ・ S I T C ジャパンとの交流
- (イ) ワンハイ、ONE、南星ジャパン、T C L C との定期交流

エ 国内ポートセールスの実施

- (ア) リーフター貨物への取り組み強化
タイ航路の取扱数量 20%アップ
- (イ) コンテナラウンドユースへの継続取り組み
輸出貨物の掘り起こし策の一環として推進
- (ウ) 新規荷主の取り扱い拡大
家電、アパレル、日用雑貨など幅広い品目に亘る
- (エ) 輸出貨物への取り組み
中古自動車の川崎港利用の拡大、スクラップのコンテナ化
危険物の集荷

(2) 川崎港振興協会独自のポートセールスに関する事業

荷主企業及び船会社、フォワーダー等物流企業を訪問し、コンテナターミナルの更なる発展に向けて情報収集及び川崎港利用の誘致を行った。

また、東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、川崎港の利用促進につながる観光事業の一環として、クルーズ船、ホテルシップの誘致・受け入れを目指して設立した川崎インバウンド等誘客推進協議会の2回目の全体会議を主宰した。(5月)

3. 京浜3港広域連携に関する事業

京浜3港広域連携に基づき、川崎・横浜・東京の各港湾管理者、振興協会及び港湾運営会社との連携を図った。

4. 初入港船歓迎行事

川崎港に初入港する船舶の乗組員に記念品等を贈呈し、歓迎の意を表することにより、川崎港をPRした。

令和元年度は、合計で17隻の外航船が初入港した。(前年度 25隻)

4月	1隻	8月	2隻	12月	1隻
5月	1隻	9月	0隻	1月	4隻
6月	2隻	10月	1隻	2月	2隻
7月	1隻	11月	1隻	3月	1隻

5. 国際交流事業

(1) ベトナム、ダナン港との交流

- ・ 川崎市福田市長がダナンを訪問し、ダナン港長と面談し、交流を深めた。

ダナン人民政府委員長とも面談し、今後の市レベルでの交流を約した。

- ・ 3月にダナン港代表团（港長以下5名）が川崎市を訪問し、交流を深める予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い来日を断念された。

6. 「川崎港便覧」の製作・販売

川崎港港域内の港湾施設、企業名等を記した地図に行政機関、施設使用料、統計資料等を掲載した川崎港便覧を作成し、ポートセールスに使用するほか、川崎港利用者等に頒布した。

2019年版 川崎港便覧

発行日 8月30日

発行部数 日本語版 3,900部 英語版 350部

7. その他の振興事業

川崎港の振興及び当協会の事業を広報するため、日刊紙、業界紙及び地域情報誌等に情報を提供した。

[提供先]

7月23日発行 日本海事新聞「海の日記念特集号」

7月26日発行 タウンニュース川崎区・幸区版「暑中見舞い名刺広告」

1月 1日発行 タウンニュース川崎区・幸区版「元旦号年賀名刺広告」

1月 1日発行 日本海事新聞「新年特集号」

【公益目的事業—2】

——港湾施設を核に、市民に開かれた港づくりの推進を図ることと併せて港湾の利用促進を図る事業——

1. 市民と港を結ぶ事業

川崎港の役割及び海事思想について市民の理解を深めるとともに、川崎マリエンの利用を促進するため、令和元年度は次の事業を実施した。

また、各事業を実施するに当たり、事業効果を測定し、今後の事業の参考とするため、アンケート調査を行った。

(1) 第46回川崎みなと祭りの開催

川崎港への市民及び港湾関係者の理解を深め、川崎港に対する親近感を高める機会を提供するため、「みんなの川崎港」をテーマに関係機関・団体と連携、協力して、第46回川崎みなと祭りの開催に向けて準備を進めたが、台風19号の上陸に伴う荒天のため、参加者及び来場者の安全を考慮し、開催を中止した。

- ・ 開催予定日 10月12日・13日 ※台風の影響により中止

(2) 映画上映会の開催

保育園、幼稚園、小学校の夏休み、冬休みの期間を利用し、マリエンシアター

で小学生以下の子どもとその保護者を対象に、DVD等映像ソフト利用による映画上映会を2回開催した。(前年度 3回 90人)

- ・上映日 7月29日
上映作品 「きかんしゃトーマス とびだせ！友情の大冒険」
来場者77人
- ・上映日 12月24日
上映作品 「それいけ！アンパンマンきらめけ！アイスの国のバニラ姫」
来場者46人

※春休み上映会については新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止。

(3) 初日の出観賞会の開催

東京湾に面した眺望の良さを生かして年中行事として市民に定着した初日の出観賞会を川崎マリエン展望室において開催した。また、大みそかの夜から元旦の夜明けまでイルミネーションの臨時点灯を実施した。

- ・実施日 1月1日
来場者 先着300人

(4) 夏休み工作教室の開催

川崎マリエンにおいて、小学生とその保護者を対象に、「ボトルシップ工作」「ボトルアート(ステンド画風)工作」の2教室を開催した。

(前年度 176人)

- ・実施日 8月17日・18日
参加者 17日 93人(ボトルシップ58人、ボトルアート35人)
18日 74人(ボトルシップ46人、ボトルアート28人)

(5) 夏休み海洋環境教室の開催

川崎マリエンにおいて、小学生とその保護者を対象に専門家の指導による水産動植物の観察や生態の調査を行う体験学習活動を実施し、海洋環境保護の大切さを学んだ。(前年度 50人)

- ・実施日 7月22日
参加者 40人

(6) ボトルシップ工作教室指導者養成コースの開催

子ども向けボトルシップ工作教室のボランティア指導者の養成を図るため、公募により、ボトルシップ工作に興味があり、将来子ども等への指導者を目指す20人を対象に、1年間の全11回コースで毎月第3土曜日に養成コースを開催した。

※12回目については新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止。

(7) クリスマスイルミネーション装飾とライトアップの実施

クリスマスと正月の季節に川崎マリエン植栽へのイルミネーション装飾を実施し、季節の感じられる川崎マリエンを演出するとともに、川崎市と協力して啓発キャンペーンの際には業務棟・交流棟壁面のライトアップを実施した。

- ・イルミネーション 12月5日～12月26日、12月31日～1月1日
- ・ライトアップ 3月20日～3月26日

(8) 第9回川崎マリエン写真・児童絵画コンクールの開催

川崎港を身近に感じてもらい、川崎港に接する機会の創出のために京浜臨海部を題材とした作品のコンクールを開催した。

- ・応募資格 児童絵画の部は小学生以下、写真の部は制限なし
- ・応募期間 11月1日～1月31日
- ・応募点数 写真74点、絵画138点
- ・選考会 2月19日

※表彰式及び入賞者の川崎マリエンでの展示会については新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止。

(9) 展示用フリースペースの利用促進

川崎マリエン交流棟1階ロビーを展示用フリースペースとして、市民等の利用に供し、希望者に無料で貸し出した。

- ・ミニチュアクラシックカー展示の継続
- ・「かわさきノルフィン×ハローキティわくわくスタンプラリー」スタンプポイント台を7月20日から9月1日に設置した。
- ・海上保安署図画コンクール作品を11月29日から12月16日に展示し、スペースの有効利用を図った。
- ・第8回川崎マリエン写真・児童絵画コンクール全応募者作品を4月25日から5月13日に展示した。

(10) 展示の充実

○川崎マリエン交流棟2階マリエンプラザ

川崎東郵便局の展示パネルの情報更新をするなどし、交流棟2階への回遊性を高めた。

○川崎マリエンタワー棟10階展望室

液晶タッチパネル方式の案内板のメニューの1つ「川崎港トピックス」の更新を行った。また、川崎港の統計データパネルを更新し、来館者が川崎港をより深く理解しながら、周囲の眺望を楽しめるよう展示の充実を図った。

(11) 夏休み川崎港見学会の開催

夏休み期間を利用して小学生とその保護者を対象に、港湾局の巡視船「あおぞら」による港内見学やプリンス海運株式会社の自動車専用船の船内見学等を行い、川崎港の役割、重要性等の理解を深めた。見学会は3回開催し、合計で41組82人の参加を得た。(前年度1回/34人)

7月24日	12組	24人
7月31日	19組	38人
8月7日	10組	20人

(12) 川崎港魅力体験ツアーの実施

一般市民を対象に、港湾施設や市民利用施設を見学するとともに、夜間も活動を続ける川崎港と臨海部の工場群を海上から視察し、川崎港の役割、重要性等を理解しながら、川崎港の魅力を体験するツアーを区役所との共催で3回企

画したが、台風の影響により1回が中止となり、年間2回の開催で延べ74人の参加を得た。(前年度3回実施/116人)

- ・ 10月23日 中原区役所(中原消防)と共催。※台風の影響により中止
- ・ 11月21日 高津区役所と共催 参加者36人
- ・ 3月14日 幸区役所と共催 参加者38人

(13) 港内案内事業の実施

川崎市が一般市民、研究者、事業者、内外視察団等を対象に、港湾局の巡視船「あおぞら」を利用して海上から川崎港を案内する事業において、乗船者に川崎港の歴史、機能、役割、重要性等についての説明を行う業務を当協会が受託し、23回、合計624人を案内した。(前年度38回1,158人)

4月	1回	8人	8月	6回	168人	12月	3回	95人
5月	1回	14人	9月	2回	51人	1月	1回	18人
6月	3回	79人	10月	2回	79人	2月	1回	18人
7月	—	—	11月	3回	94人	3月	—	—

また、東扇島防災浮棧橋を活用した港内観光などの実施に向けた平常時利用の実証実験事業を当協会が受託して、川崎市及び関係事業者を含めた協議会を設置し、運営理事会を開催した。

なお、当該浮棧橋を利用した実証実験の回数は年間で計12回であった。

(14) スポーツ教室及び大会の開催によるスポーツの振興

川崎マリエンの体育室(夜間バドミントン教室/春の部・秋の部)、テニスコート(夜間テニス教室/春の部・秋の部、昼テニススクール・大会)、ビーチコート(日帰り研修/ビーチバレーボール・ビーチテニス、ビーチバレーボール大会・ビーチテニス大会)、トレーニング室(トレーニング教室)を利用して、各種スポーツの競技人口の拡大と併せて施設の利用を促進するため、教室及び大会を開催した。

(15) ニュースポーツ普及事業の実施

レクリエーション関係各社と連携して、川崎マリエンを利用するニュースポーツ普及のための講習会を4回開催するとともに、用具を川崎マリエンに備え付け、東扇島中公園等の施設利用者に貸与した。

(16) 川崎市港湾振興会館活性化事業(宿泊体験他)の実施

川崎マリエンの特色を発揮し、市民が川崎マリエンに親しむ機会を創出することにより、施設の活性化並びに川崎港及び川崎マリエンの新たな魅力創出につなげるため、幸区子ども会連合会子ども会リーダー研修会を対象とする宿泊体験研修を実施したほか、ビーチバレーボールとビーチテニスの日帰り体験会及び大会を実施した。

ア 第1回ビーチバレーボール体験会

- ・ 実施日 4月13日
- ・ 参加者 16人

- イ 第2回ビーチバレーボール体験会
 - ・実施日 5月18日
 - 参加者 17人
- ウ 第3回ビーチバレーボール体験会
 - ・実施日 6月1日
 - 参加者 14人
- エ 第4回ビーチバレーボール体験会
 - ・実施日 7月6日
 - 参加者 18人
- オ 第5回ビーチバレーボール体験会
 - ・実施日 11月9日
 - 参加者 10人
- カ 第1回ビーチテニス体験会
 - ・実施日 11月30日
 - 参加者 11人
- キ 第1回ビーチテニス大会
 - ・実施日 12月1日
 - 参加者 16人
- ク 第1回ビーチバレーボール大会
 - ・実施日 12月21日
 - 参加者 18人
- ケ 宿泊体験研修
 - ・実施日 7月26日・27日
 - 参加者 62人

(17) 川崎マリエン茶道教室の開催

川崎マリエンの和室を利用して、伝統とおもてなしの心を体験する茶道教室を開催した。

- ・無料体験会 5月22日（参加者10人）
- ・6月12日より毎月第2・第4水曜日開催。2月26日第18回開催で終了（全18回・生徒数7人）

※19回目、20回目の2回については新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止。

(18) 観光客の誘致

一般社団法人川崎市観光協会と連携するほか、一般財団法人夜景コンベンション・ビューローが主宰する「日本夜景遺産」に認定された川崎マリエン展望室等を観光名所として、国内外に情報発信するとともに、観光客や修学旅行生の来館を促進した。

(19) 川崎港紹介資料の制作

市内小学校の社会科見学で来館する児童等の理解を促進するための副教材を作成し、配布を行った。

(20) ワカメ祭りの開催

川崎の海の環境保全の大切さを理解する機会を提供するため、関係団体と連携、協力して、川崎港内で養殖したワカメの種付け会及び収穫祭を開催した。

なお、収穫祭の開催に併せて、川崎マリエンの施設見学会を実施した。

- ・ 12月 8日 種付け会 参加者 70人
- ・ 2月 16日 収穫祭（見学会・試食会） 参加者 50人

(21) 野鳥及び樹木の保護・観察

環境保護活動の一環として、野鳥及び樹木の保護・観察の観点から市民参加型事業を検討し、川崎マリエン及び隣接する東扇島中公園において、市民参加による「野鳥及び樹木の観察会」を実施した。（前年度参加者 40人）

- ・ 実施日 11月 17日
- 参加者 55人

(22) スポーツ合宿の開催

2020年に向け、U23世代に対してオリンピックによるビーチバレーボールの指導とトップアスリートによる必要な要素を研修できる環境を提供し、次世代を担う選手を育成する事業を行った。また、川崎マリエンの施設利用、スポーツ振興を通じて川崎港の振興に寄与した。

- ・ 実施日 11月 2日～4日
- 実施内容 ビーチバレー場では実技・試合、研修室・会議室は座学に利用
- 参加者 9名

(23) 海苔づくり体験教室の開催

体験学習場を利用して、市内の小学校を対象とした海苔づくり体験教室を環境保護団体と連携して冬季に開催した。

(24) 親子釣り教室の開催

東扇島西公園において、親子で釣りの楽しさやマナーを学びながら海と触れ合う釣り教室を開催する予定であったが、台風及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

- ・ 開催予定日 11月 9日 台風の影響により中止
- 3月 14日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(25) 車両の駐車講習会の開催

川崎マリエンの駐車場を活用して、自動車の安全で安心な駐車や車庫入れの技術向上を目的に専門の指導員による講習会を開催した。

- ・ 実施日 11月 9日
- 参加者 6人

(26) ビーチフィットネス／健康体操・ストレッチ教室の開催

川崎マリエンの体育館を活用して、港湾労働者の健康の維持と増進を図るため、フィットネス教室を開催した。

- ・ 実施日 12月 4日
- 参加者 7人
- ・ 実施日 2月 5日

参加者 7人

(27) なわとび教室の開催

川崎マリエンの体育館を活用して、市内小学生の体力増進となわとびの技術力の向上を図るため開催した。

・実施日 12月15日

参加者 27人

・実施日 1月12日

参加者 20人

(28) 夜景写真教室の開催

「日本夜景遺産」に認定された川崎マリエン展望室からの眺望を楽しみながら川崎港や臨海部の夜景を美しく撮影する技術を学ぶ教室を開催した。

・実施日 11月7日

参加者 9人

(29) ふれあい移動動物園の開催

子ども達がひよこやうさぎなどを始めとする小動物に触れ、やさしさや守ることの大切さを感じてもらふれあい移動動物園の開催を計画した。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止

(30) 中公園を花で飾ろう

東扇島中公園のベンチ横園路脇のスペースを活用して花壇を作り、花の苗を植えた。

※花壇の作成は行ったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために市民参加による花植えは中止。花苗は職員で植えた。

(31) グラウンドゴルフ体験会の開催

東扇島中公園において、ニュースポーツ普及の一環としてグラウンドゴルフの体験会を開催するとともに、用具を備え置き施設利用者の貸し出しに対応した。

・実施日 10月19日

参加者 25人

(32) フットサルコート提供に向けた準備

川崎マリエン体育館の利用を促進するため、体育館にフットサルコートを設置するための実証実験を行った。

(33) 夜桜のライトアップ

桜の開花時期に東扇島中公園の桜に提灯を吊るしてライトアップを行い、訪れる市民にお花見の場所を提供した。

(34) 季節の工作教室の開催

かわさき市民祭りに、当協会のグッズ販売及びPRスペースとして出店しているマリエン本舗において、オリジナルのペーパーモビールの工作教室を開催するとともに川崎港並びにマリエンのPRに努めた。

・実施日 11月2日

参加者 10人

・実施日 11月3日

参加者 9人

(35) 焼き芋をつくろう

東扇島中公園を利用し、子ども達も参加して野外で焼く楽しさや、食べる楽しさを体験できる焼き芋づくりイベントを開催した。

・実施日 11月17日（「野鳥及び樹木の観察会」と同時実施）

参加者 55人

(36) 樹木の名木板取付ワークショップ

川崎マリエン及び東扇島中公園に植樹されている樹木の名木板取付けワークショップを開催し、環境保護を推進した。

・実施日 11月17日（「野鳥及び樹木の観察会」と同時実施）

参加者 55人

(37) 中公園でのキャンプエリア開設に向けた準備

令和2年度から東扇島中公園で新たにキャンプエリアを開設するにあたり、区画整備や案内板設置等の準備を行った。

(38) 共催・後援等事業の実施

川崎マリエンのビーチバレー場、テニスコートなどのほか、東扇島の市民利用施設の周知、PR、利用促進を図るため、イメージアップ効果のある各種大会を誘致するとともに、各種団体が主催する事業を積極的に共催・後援した。

[共催・後援した主な大会等]

- ・平成31年度川崎マリエンジュニア育成テニス教室(上期)(川崎市テニス協会)
開催：4月21日～9月15日
- ・2019年度川崎マリエンジュニア育成テニス教室(下期)(川崎市テニス協会)
開催：10月6日～3月15日
- ・2019川崎マリエンカップジュニアオープンテニス大会(川崎市テニス協会)
開催：7月29日～8月3日
- ・第128回川崎市実業団対抗テニストーナメント(第61リーグ)大会
(川崎市テニス協会)
開催：11月16日～2月24日
- ・ダンロップカップ神奈川オープンベテランテニス2019
(神奈川県テニス協会)
開催：6月22日～7月1日
- ・第9回神奈川ベテランミックステニス2019(神奈川県テニス協会)
開催：11月2日～11月9日
- ・第7回神奈川ベテランウインターテニス2019(神奈川県テニス協会)
開催：11月30日～12月9日
- ・ジャパンビーチバレーボールツアー2019アンダーエイジ川崎大会(U21)
(日本ビーチバレーボール連盟)
開催：4月20日、21日
- ・ビーチバレーボール・ジャパン・カレッジ2019
(全日本大学バレーボール連盟)

- 開催：8月6日～8月8日
- ・令和元年度川崎市高等学校ビーチバレー講習会（川崎市バレーボール協会）
開催：8月20日
- ・バイクナビグランプリ2019第15回マリンエンデューロ
（日本シティスポーツ協会）
開催：6月16日
- ・バイクナビグランプリ2019第16回マリンエンデューロ
（日本シティスポーツ協会）
開催：10月20日
- ・川崎みなとアクアスロン・エキデン in 東扇島
（川崎みなとアクアスロン・エキデン大会実行委員会）
開催：10月13日
- ・DEADPOPFEESTIVAL2019（DEADPOPFEESTIVAL 実行委員会）
開催：6月22日、23日
- ・BAYCAMP2019（BAYCAMP 実行委員会）
開催：9月14日、15日
- ・渋さ知らズ30周年～渋大祭～（渋さ知らズ30周年～渋大祭～実行委員会）
開催：9月16日
- ・勇竿主催令和元年度東扇島釣り大会（株式会社勇竿）
開催：12月1日～15日

2. 川崎市港湾振興会館並びに東扇島中公園の管理運営

川崎マリエン並びに東扇島中公園の指定管理者として、設置目的に従って体育館、会議室・研修室、展望室、テニスコート、ビーチバレー場、トレーニング室、バーベキュー場、駐車場等の市民利用施設・設備及び港湾事務室を適切に管理・運営するとともに、快適な環境及び魅力ある施設の運営により利用者の拡大を図った。

ア 体育館

利用可能なアマチュアスポーツ以外で、空手やダンスなどでの利用に供した。その他の利用目的にも対応し、小中学生のチアリーディングの練習等に貸し出しをした。

毎週木曜日及び専用利用がない区画を市民開放として貸し出した。

イ 会議室・研修室

利用促進を図るため、会議室及び研修室において使用料の半額化を継続した。また、映画、ドラマ等の撮影場所として貸し出し、川崎マリエンのPRに努め、知名度アップに貢献した。

ウ 展望室

展望室と望遠鏡の無料化を継続、タッチパネルにより川崎港と周辺地域の様子を具体的に表示し、展望室からの眺望と併せて利用者の方々に楽しんで頂いた。

エ テニスコート

利用者からの要望に適宜対応し、また備品管理を行い利用者の利便性の向上を図った。

オ ビーチバレー場

ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点として指定選手やトップアスリートの練習会場としての利用の他、ビーチバレーの関係団体と連携を図り、大会・練習会・講習会を開催しビーチスポーツの普及に貢献した。

カ トレーニング室

一般利用者に対しては、月4回の初回説明会を実施するなど、交流棟9階のトレーニング場の適切な管理運営を行った。

また、交流棟2階のトレーニング場は、ビーチバレーアスリートのトレーニング場所として利用してもらうとともに、適宜備品管理を行い、利用者の利便性の向上を図り、ビーチスポーツの普及に貢献した。

キ 駐車場

管理運営を専門業者に委託し、より効率的な運営を行った。

また、駐車場の一部を継続して移動式水素ステーションに貸与するとともに、設置している電気自動車用急速充電器の利用を進めた。

ク 交流棟受付及びロビーの季節の飾り付け

川崎マリエンの季節感を出すために「七夕」「ハロウィン」「クリスマス」「お正月」「雛祭り」等の飾り付けを行った。

ケ サービス向上委員会及び管理運営個別業務自己評価点検委員会の開催

川崎マリエンのより快適な環境及び魅力ある施設の利用者サービス向上を図るため、毎月1回受託業者間の情報提供や意見交換を行った。

コ 会館入居者連絡会議の開催

川崎マリエン入居者への情報の提供や意見交換の場として「会館入居者連絡会議」を適宜開催した。

サ 川崎マリエン利用者懇談会の開催

川崎マリエンの運営及び事業について、市民及び利用者の意見を反映させるため、11団体から推薦された委員による川崎マリエン利用者懇談会を年2回開催している。(上期1回、下期1回)

・構成団体名

川崎区連合町内会、川崎区スポーツ推進委員会、川崎市立小学校、(公財)川崎市スポーツ協会、川崎市バレーボール協会、川崎市テニス協会、川崎マリエン・ボトルシップ会、(一財)川崎港湾福利厚生協会、東扇島協議会、川崎港管理センター、(公社)川崎港振興協会

・開催日 7月17日

・出席者 10人

・議題 ①川崎マリエンの事業について(令和元年度)
②意見交換
③その他

- ・開催日 1月15日
- ・出席者 8人
- ・議題 ①川崎マリエン等の事業経過報告(令和元年度)
②意見交換
③その他

シ 事業モニタリングの実施

施設の利便性や利用率向上の為に、利用者の意見を取り入れ業務の見直し、改善を図った。

ス 東扇島中公園の管理運営

川崎マリエンに隣接する東扇島中公園の管理運営として、樹木剪定、芝刈、除草及び害虫駆除等を定期的に行い、公園利用者の利便性の向上に努め適切に管理運営を行った。また、オフグリッドトレーラーハウスの展示による新エネルギー等(ソーラー発電)による普及に協力し、中公園の利用促進を図った。

* マリエン施設の利用者数(前年度との比較)

令和元年度		平成30年度	
169,175人		422,590人	
・会議室・研修室	17,607人	・会議室・研修室	17,943人
・展望室	71,357人	・展望室	75,564人
・テニスコート	35,965人	・テニスコート	31,286人
・ビーチバレー場	26,040人	・ビーチバレー場	28,287人
・体育館	15,653人	・体育館	15,094人
・川崎みなと祭り(中止)	0人	・川崎みなと祭り	251,000人
・その他(トレーニング室他)	2,553人	・その他(トレーニング室他)	3,416人

3. インターネットサイトによる情報提供事業

川崎港の振興宣伝及び当協会の事業、イベント等の周知を図るため、市民及び港湾・海事関係者並びに当協会の会員等にホームページ・フェイスブック等で随時情報を提供した。

また、マリエン及び協会サイトのウェブアクセシビリティ対応及び英語翻訳により、多くの方がサイトを便利に利用できるよう配慮した。

- ・ホームページアドレス

公益社団法人 川崎港振興協会 <http://www.kawasakiport.or.jp/kyokai/>

川崎マリエン <http://www.kawasakiport.or.jp/>

※ページ別訪問数(平成31年4月～令和2年3月) 307,556件

【収益事業－1】

——川崎市施設の管理運営に関する事業——

1. 川崎市港湾振興会館並びに東扇島中公園収益施設の管理運営

川崎マリエン並びに東扇島中公園の指定管理者として、港湾事務所等の収益事業部分やバーベキュー場を川崎マリエン並びに東扇島中公園の設置目的に従って適切に管理運営を行った。

・東扇島中公園内バーベキュー施設の管理運営

収益施設として、川崎マリエンに隣接する東扇島中公園内のバーベキュー施設の維持管理、案内、用具点検等、利用者の安全と快適性を確保するため適切な管理運営を行った。

利用区画数	629区画	(平成30年度	710区画)
無料貸自転車	1,018件	(1,144件)

2. 自動販売機設置事業

川崎マリエン、東扇島中公園及び東扇島西公園利用者の利便性の向上を図るため、飲料水等の自動販売機を設置している。

・交流棟	1台	・業務棟	2台	・連絡通路	3台	・展望室	1台
・テニスコート	3台	・西公園	5台			計	15台

【収益事業—2】

——川崎港関連物品等の頒布事業——

1. 川崎マリエンオリジナルグッズの製作、販売

多くの市民及び事業者に川崎港及び川崎マリエンに親しんでいただくため、マリエンに展示しているホオジロサメの剥製「かわジロー」に因んだサメのグッズを仕入れ、また、川崎港のシンボルキャラクター「川丸くん」のグッズを作成して、川崎マリエン受付で販売した。

2. 体育館利用者のための消耗品の販売

体育館利用者向けにピンポン球、シャトルコック等、シャワー室利用者向けにシャンプー等を販売し、利便性の向上を図った。

【収益事業—3】

——ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設の管理運営——

川崎マリエンビーチバレー場がスポーツ庁よりナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設に指定されたことを受け、スポーツ庁から管理運営を受託し、国内トップレベルのビーチバレーボール選手が東京オリンピックでの活躍に向けてトレーニング等を強化できるよう適切な管理運営を行った。

【共益事業】

——会員を対象にした研修会、講演会の開催及び機関誌の発刊——

1. 会勢

(1) 会員 268社 (入会3社・退会1社)

(2) 役員 19人

会 長 1人

専務理事 1人

理 事 14人

監 事 2人

顧 問 1人

(3) 職員 15人

事務局長 (業務課長兼務) 1人

業務課 5人

ポートセールス推進課 1人

会館事業課 8人

2. 総会・理事会

(1) 通常理事会

・開催日 5月21日

・場 所 川崎マリエン第1会議室

- ・議 題
- ①平成30年度事業報告について
 - ②平成30年度決算報告及び監査報告について
 - ③役員及び顧問の選任 (案) について
 - ④会員の入会 (案) について
 - ⑤平成31年度定時総会の招集 (案) について
 - ⑥公益法人変更認定申請について
 - ⑦職務執行状況の報告について

(2) 定時総会

・開催日 6月18日

・場 所 川崎日航ホテル12階東中の間

- ・議 題
- ①平成30年度事業報告について
 - ②平成30年度決算報告及び監査報告について
 - ③役員の選任 (案) について
 - ④平成31年度事業計画及び予算について

(3) 通常理事会

・開催日 11月13日

・場 所 川崎マリエン第1会議室

- ・議 題
- ①令和元年度上半期事業報告について
 - ②令和元年度中間決算報告について

- ③会員の入会(案)について
- ④職務執行状況の報告について

(4) 通常理事会

- ・開催日 2月18日
- ・場 所 川崎マリエン第1会議室
- ・議 題 ①令和2年度事業計画(案)について
②令和2年度予算(案)について
③資金調達及び設備投資の見込み(案)について

3. 川崎港研修会

港湾関係行政機関から講師を招き、会員店社の新入社員を対象に、川崎港における港湾行政について講演するとともに、海上から川崎港を視察し、川崎港についての理解を深めた。

- ・開催日 7月5日
- ・参加者 40人
- ・演題1 「税関の業務について」
講師 川崎税関支署 統括監視官 澤口 俊 様
- ・演題2 「川崎港の概要」
講師 川崎市港湾局 港湾経営部経営企画課長 富永 憲雄 様

4. 川崎市港湾関係事業概要説明会

会員店社が川崎港において事業展開する際の参考となるよう、川崎市港湾局及び国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所から講師を招き、港湾振興事業、公共事業、将来計画、川崎港の港勢等について説明を行った。

- ・開催日 7月4日
- ・参加者 70人
- ・演題1 「川崎港東扇島～水江町地区臨港道路整備事業について(施工状況)」
講師 国土交通省関東地方整備局 京浜港湾事務所
川崎臨港道路担当 保全課長 林田 善久 様
- ・演題2 「川崎港の取り組み」
講師 川崎市港湾局 港湾経営部整備計画課長 高橋 正力 様

5. 物流研修会

港湾をとりまく物流の変化に対応し、会員各位の事業発展に資するため、今年度は、株式会社大森廻漕店の濱田雅弘様を講師にお招きし、「国際物流事情の変化」と題してご講演を頂いた。

- ・開催日 2月14日
- ・会 場 東海道かわさき宿交流館
- ・参加者 67人
- ・演 題 「国際物流事情の変化」

- ・講師 株式会社大森廻漕店 常務取締役 濱田 雅弘 様

6. 「港かわさき」の発刊

川崎港の現状、将来像、物流動向、イベント情報、港湾又は海に関わるエピソード等を掲載した機関誌を発刊し、会員に川崎港の最新情報を提供するとともに、市内行政機関、学校、図書館等に配布し、市民が川崎港の役割、魅力等について理解を深める一助とした。

(1) 「港かわさき64号」

- ・発行日 8月15日
- ・発行部数 1,000部
- ・主な内容 「みなとで働く人々」第2回
冷蔵倉庫のお仕事「五十嵐冷蔵株式会社」
物流研修会「スマートにつなぐ川崎港の未来」
東京海洋大学大学院 教授 渡邊 豊 様
港湾緑地を活用した川崎港の知名度向上に向けた取組について
川崎市港湾局港湾経営部経営企画課
担当係長 英山 聡子 様

【連載】川崎臨海部埋立の歴史 第2回 昭和初期

(2) 「港かわさき65号」

- ・発行日 1月10日
- ・発行部数 1,000部
- ・主な内容 「みなとで働く人々」第3回
公益社団法人 川崎港清港会
150万市民に愛される川崎港を目指して
川崎市港湾局港湾振興部誘致振興課
「2020 川崎から世界へ！！」
川崎ビーチスポーツクラブ (KBSC)

【連載】川崎臨海部埋立の歴史 第3回 港湾管理者の設立